平成29年度 平成29年度











I 平成29年度予算編成のポイント

課題解決先進県を目指し、事業のさらなるバージョンアップを促進

- 「課題解決先進枠」を引き続き設定し、「第3期産業振興計画」等の各種計画に掲げた目標を達成するための事業など、課題解決先進県を目指した事業への重点的な配分を実施。
- 「課題解決先進枠」への要求に際し、既存事業を積極的に見直し、創意工夫による事業の組み替え・バー ジョンアップを促進するため、28年度予算から削減した額の1.5倍 (※-般財源ベ-ス) まで要求可能。
- 費用対効果等の観点から既存事業について積極的な見直しを実施し、課題解決先進県を目指した取り組みを 推進するため、経常的経費は△5%のシーリング(投資的経費はゼロシーリング)。

事業の見直し、課題解決への取り組みに対応するため「課題解決先進枠」を継続

2

南海トラフ地震対策の推進

- H28.3策定の「第3期南海トラフ地震対策行動計画」に掲げた目標を達成するために必要な事業を着実に実施。
- 熊本地震から得た教訓も反映し、行動計画に位置づけた対策の見直しとさらなる強化。

「南海トラフ地震対策の推進」 新規、拡充分等に係る必要経費を積み上げ

3

インフラ整備の推進と財政の健全化の両立

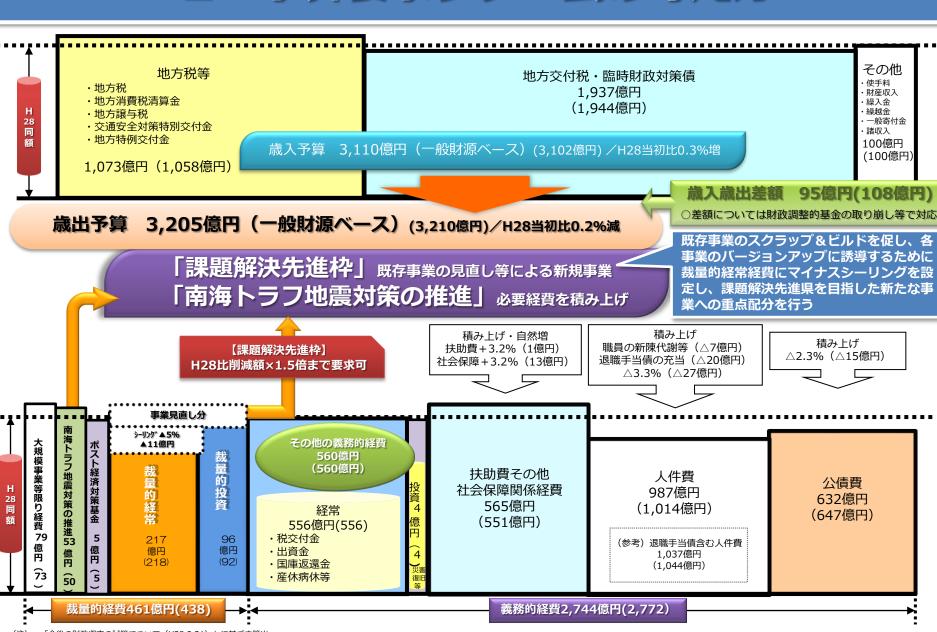
- 立ち遅れたインフラ整備を推進するため、普通建設事業費の一般財源総額(地方債含む)を確保する(投資的経費(大規模事業を除く)はゼロシーリング)。
- PDCAサイクルを通じた徹底的な事業見直しを実施。

4

国の動向の把握と県予算への反映

○ 歳入・歳出改革の議論など、国の動向に留意し、積極的に情報収集を行い、本県への影響を見極めた上で確 実に予算に反映。

Ⅲ 予算要求フレームの考え方



⁽注) ・「今後の財政収支の試算について(H28.9.21)」に基づき算出。 ・金額は注釈がない限り一般財源ベース。限度額を示すものではない。

・()は平成28年度当初予算。

Ⅲ 予算編成の主なスケジュール(予定)

平成 28 年 10月	○ 20日 予算編成方針通知
11月	○ 14日 予算見積書提出期限○ 22日 予算見積概要公表資料財政課提出期限
12月	○ 中旬 当初予算見積概要の公表
平成 29 年 1月	○ 中旬 財政課長内示、総務部長協議、総務部長内示○ 下旬 知事査定
2月	○ 中旬 当初予算案記者発表